

資源：飲料缶の行方

- 飲料缶は月1回収集をしています。
資源はリサイクルステーションで収集します。再生ペット樹脂で出来た網カゴ（エコバッグ）に入れてください。
- エコバッグは網の部分が100%ペットボトル再生品のものを使用しています。



- 飲料缶は、いったん三の倉センターのリサイクルプラザに運ばれ、飲料缶受入れホッパに投入します。



- 飲料缶は最初に「手選別コンベア」で手作業で選別します。
未使用の飲料缶、タバコが入っているもの、飲料缶ではないカンなど、再生できないものをここで選別しています。



- 飲料缶選別の機械は、リサイクルプラザの中央制御室で一括管理を行います。

- 磁選機で磁力を使ってスチール缶だけ取り出します。



- その後、アルミ選別機でアルミ缶だけ跳ね飛ばします。
手選別で見逃した資源にならないものが残ります。



- 選別機で分けられたスチール缶とアルミ缶は、それぞれ一定量をプレス機で固めます。



- スチール缶を 525 個固めたプレスサンプル、通称「小次郎」です。20.34kg あります。



- アルミ缶 634 個を固めたプレスサンプル、通称「武蔵」です。10.26kg あります。

三の倉センターの見学コースに飾ってありますので、是非、見に来てください。



- こうしてプレス機で運びやすく加工されたスチール缶、アルミ缶は、大畑センターに集積された後、入札し、金属仲買人を通して金属市場に出荷されます。その後、工場で再生され、主に飲料缶として再資源化されます。

